

令和4年度学校法人福岡大学収支予算

《令和4年度予算の重点施策》

- (1) 学生、患者及び教職員の安全を確保するための体制整備
- (2) ウィズコロナに対応した教育、研究、医療体制の整備・充実
- (3) 奨学金充実に向けた第3号基本金(※1)の拡充
- (4) 組織再編、集約による人員の適正化及び人件費比率の低減
- (5) 既存予算の抜本的見直しによる経費削減

※1 第3号基本金…運用果実を奨学金などに充てるために繰り入れた基金の額

1. 令和4年度事業活動収支予算 (予算規模819億円)

(単位:千円)

No.	科目	4年度予算額	3年度予算額	差異
1	学生生徒等納付金	28,025,300	28,104,701	△ 79,401
2	手数料	1,302,999	1,482,757	△ 179,758
3	寄付金	669,190	813,847	△ 144,657
4	経常費等補助金	6,422,524	6,128,660	293,864
5	付随事業収入	1,264,512	1,245,570	18,942
6	医療収入	41,829,582	40,649,123	1,180,459
7	雑収入	1,195,691	1,534,073	△ 338,382
8	教育活動収入計	80,709,798	79,958,731	751,067
9	人件費	41,003,316	42,444,359	△ 1,441,043
10	(うち退職給与引当金繰入額)	(2,168,862)	(2,460,889)	(△292,027)
11	教育研究経費	35,203,963	33,165,411	2,038,552
12	(うち減価償却額)	(5,565,174)	(5,476,628)	(88,546)
13	管理経費	3,470,871	3,394,725	76,146
14	(うち減価償却額)	(389,691)	(389,174)	(517)
15	教育活動支出計	79,678,150	79,004,495	673,655
16	教育活動収支差額(8-15)	1,031,648	954,236	77,412
17	受取利息・配当金	961,472	923,705	37,767
18	その他の教育活動外収入	41,000	38,000	3,000
19	教育活動外収入計	1,002,472	961,705	40,767
20	借入金等利息	101,374	99,486	1,888
21	その他の教育活動外支出	0	0	0
22	教育活動外支出計	101,374	99,486	1,888
23	教育活動外収支差額(19-22)	901,098	862,219	38,879
24	経常収支差額(16+23)	1,932,746	1,816,455	116,291
25	資産売却差額	0	0	0
26	その他の特別収入	206,680	78,723	127,957
27	特別収入計	206,680	78,723	127,957
28	資産処分差額	0	0	0
29	その他の特別支出	0	0	0
30	特別支出計	0	0	0
31	特別収支差額(27-30)	206,680	78,723	127,957
32	[予備費]	507,209	506,565	644
33	基本金組入前当年度収支差額(24+31-32)	1,632,217	1,388,613	243,604
34	基本金組入額合計	△ 7,290,070	△ 8,645,048	1,354,978
35	当年度収支差額(33+34)	△ 5,657,853	△ 7,256,435	1,598,582
36	前年度繰越収支差額	△ 27,295,585	△ 29,262,453	1,966,868
37	翌年度繰越収支差額(35+36)	△ 32,956,438	△ 36,518,888	3,562,450
38	事業活動収入計(8+19+27)	81,918,950	80,999,159	919,791
39	事業活動支出計(15+22+30+32)	80,286,733	79,610,546	676,187

経常的な収支のうち、**本業の教育活動の収支**を見ることができ、4年度は10億3,200万円の収入超過となる見込み。3年度より手数料が1億8,000万円、寄付金が1億4,500万円の減少、経常費等補助金が2億9,400万円増加、医療収入が11億8,000万円増加、人件費が14億4,100万円減少、教育研究経費が20億3,900万円増加。

経常的な**収支バランス**を見ることができ、4年度は19億3,300万円の収入超過となる見込み。

資産売却や施設・設備関係の補助金等の**臨時的な収支**を見ることができ、4年度は2億700万円の収入超過となる見込み。3年度より耐震化整備に係る補助金の増加に伴い1億2,800万円増加。

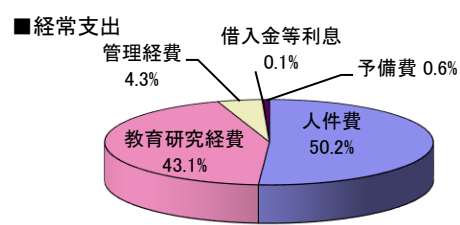
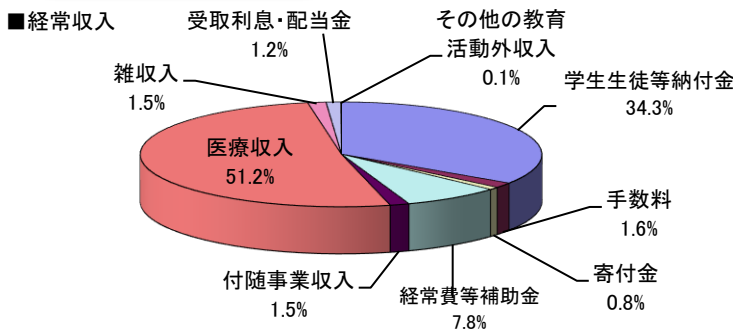
良好な教育・研究・医療環境を維持するための施設・設備等の額である。3年度より13億5,500万円減少。

経常的な収支のうち、**財務活動の収支**を見ることができ、4年度は9億100万円の収入超過となる見込み。

毎年度の**収支バランス**を見ることができ、従来の帰属収支差額である。4年度は16億3,200万円の収入超過となる見込み。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した**もの**。4年度は56億5,800万円の支出超過となる見込み。

経常収入に対する比率



※ 各科目の構成比率は経常収入を100%として表示しています。

【事業活動収支予算の概要】

- ・ No. 33基本金組入前当年度収支差額 (No. 38事業活動収入 - No. 39事業活動支出) は、16億3,200万円の収入超過を見込んでおり、事業活動収支差額比率 (No. 33基本金組入前当年度収支差額 ÷ No. 38事業活動収入) は、2.0%となっています。
- ・ 人件費比率 (No. 9人件費 ÷ 経常収入 [No. 8教育活動収入 + No. 19教育活動外収入]) は、50.2%となり、前年度予算より2.3ポイント低くなっています。

2. 令和4年度資金収支予算 (予算規模1,273億円)

(単位:千円)

《収入の3本柱》					
収入の部					
No.	科目	4年度予算額	3年度予算額	差異	
1	学生生徒等納付金収入	28,025,300	28,104,701	△ 79,401	<p>学生生徒等が納める授業料や入学金などのこと。聴講料や補講料も含まれます。</p> <p>国や地方公共団体などからの助成金です。</p> <p>福岡大学病院、筑紫病院、西新病院の医療収入です。</p> <p>・長期、短期の貸付金の回収額 ・税金等の預り金受入額 ・特定の目的のために積み立てた資産を取崩した額</p> <p>翌年度に入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などです。</p> <p>収入として計上したが未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。</p>
2	手数料収入	1,302,999	1,482,757	△ 179,758	
3	寄付金収入	728,524	823,038	△ 94,514	
4	補助金収入	6,569,870	6,198,192	371,678	
5	付随事業・収益事業収入	1,305,512	1,283,570	21,942	
6	医療収入	41,829,582	40,649,123	1,180,459	
7	受取利息・配当金収入	961,472	923,705	37,767	
8	雑収入	1,195,690	1,534,073	△ 338,383	
9	借入金収入	9,900,000	4,000,000	5,900,000	
10	前受金収入	5,182,442	5,242,398	△ 59,956	
11	その他の収入	27,814,875	26,824,707	990,168	
12	資金収入調整勘定	△ 13,440,814	△ 13,547,838	107,024	
13	収入計	111,375,452	103,518,426	7,857,026	
14	前年度繰越支払資金	15,900,089	18,161,001	△ 2,260,912	
15	収入の部合計	127,275,541	121,679,427	5,596,114	

(単位:千円)

支出の部					
No.	科目	4年度予算額	3年度予算額	差異	
16	人件費支出	40,734,863	42,169,181	△ 1,434,318	<p>教職員に支払われる給与などのことです。</p> <p>土地、建物、構築物などを取得するための支出です。</p> <p>より良い教育研究サービスを提供するために資産を積み立てるための支出などです。</p> <p>学長裁量経費、文部科学省施策対応および予算編成時において予期しない支出に対応するためのものです。</p> <p>学生生徒等の教育・研究・医療のために支出する経費です。</p> <p>総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。</p> <p>教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書などを取得するための支出です。</p> <p>支出として計上したが未払となっているものや、前払金支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。</p>
17	教育研究経費支出	29,638,789	27,688,783	1,950,006	
18	管理経費支出	3,081,179	3,005,552	75,627	
19	借入金等利息支出	101,374	99,486	1,888	
20	借入金等返済支出	568,150	568,150	0	
21	施設関係支出	13,270,013	6,946,981	6,323,032	
22	設備関係支出	1,699,123	1,490,597	208,526	
23	資産運用支出	6,754,360	7,158,861	△ 404,501	
24	その他の支出	19,791,370	20,849,778	△ 1,058,408	
25	予備費	508,235	508,235	0	
26	資金支出調整勘定	△ 6,141,840	△ 5,836,886	△ 304,954	
27	支出計	110,005,616	104,648,718	5,356,898	
28	翌年度繰越支払資金	17,269,925	17,030,709	239,216	
29	支出の部合計	127,275,541	121,679,427	5,596,114	

【資金収支予算の概要】 (注: ↑…増加を示す ↓…減少を示す)

《収入の部》

No. 2	手数料収入	↓ 学部の入学志願者数の減少。
No. 4	補助金収入	↑ 授業料減免費交付金による増加。
No. 6	医療収入	↑ 福岡大学病院の入院・外来診療単価および筑紫病院の入院患者数・入院診療単価の増加。
No. 9	借入金収入	↑ 福岡大学病院新本館（仮称）新築工事に伴う借入金の増加。
No. 11	その他の収入	↑ その他預かり金収入の増加。

《支出の部》

No. 16	人件費支出	↓ 若葉高校教員数、筑紫病院職員数の減少および退職金の減少。
No. 17	教育研究経費支出	↑ 福岡大学病院・筑紫病院の医療収入の増加に伴う医療経費の増加。
No. 21	施設関係支出	↑ 福岡大学病院新本館（仮称）新築工事に伴う建物支出の増加。
No. 22	設備関係支出	↑ 福岡大学病院の医用画像保管装置更新に伴う機械器具支出の増加。
No. 23	資産運用支出	↓ 各種特定資産への繰り入れ支出の減少。
No. 24	その他の支出	↓ 前期末未払金支出の減少。

【資金収支規模と翌年度繰越支払資金】

- ・資金収支予算の合計は1,273億円で、前年度予算より56億円の増加となっています。
- ・資金収支のてん末としての翌年度繰越支払資金は173億円で、前年度予算より2億円の増加となっています。

《令和4年度予算の特徴》

- (1) 教育関係
 - ① 奨学費（高等教育支援制度の授業料減免）
 - ② 学部教育充実予算
 - ③ 設備一式更新（A棟・5号館・医学部中講堂他）
- (2) 研究関係
 - ① 基盤研究機関研究所（膝島研究所他3研究所）
 - ② 産学官連携研究機関研究所（資源循環・環境制御システム研究所他3研究所）
 - ③ 産学官共同研究機関研究所（都市空間情報行動研究所他10研究所）
- (3) メディカル部門
 - ① 福岡大学病院
 - ・ 医用画像保管装置
 - ② 西新病院
 - ・ 除細動器、心電図ファイリングシステム他
 - ・ 在宅医療回診用車両
- (4) 附属高等学校・中学校部門
 - ① 大濠高等学校・中学校
 - ・ 第2体育館3階バスケコート空調設備設置工事
 - ・ ICT設備一式
 - ② 若葉高等学校
 - ・ 講堂兼体育館2階アリーナ空調設備設置工事
 - ・ PC教室システム一式
- (5) 施設関係
 - ① 福岡大学病院新本館（仮称）新築工事
 - ② 体育寮（仮称）新築工事
 - ③ 自修寮（仮称）新築工事
 - ④ 16号館各室GHP他空調機改修工事
 - ⑤ 多目的棟（仮称）新築工事
 - ⑥ 60周年記念館1・2階キャリアセンター移転に伴う改修工事
 - ⑦ 水理衛生工学実験室別館（仮称）新築工事
 - ⑧ 福岡大学病院新本館（仮称）新築工事工事段階CM業務
- (6) コロナ関係
 - ① PCR検査に関する経費
 - ② 入試に関する経費
 - ③ 遠隔授業に関する経費
 - ④ 通信費・消耗品費他
- (7) 学長裁量経費

【学校法人会計の豆知識】

- ・平成27年度から学校法人会計基準が改正され、資金収支計算書では勘定科目等の見直しが行われています。また、従来の消費収支計算書は名称が事業活動収支計算書となり、内容が大幅に変更されています。消費収支計算書では、収入・支出とも総額で把握していましたが、近年の臨時的・事業外の収支の増加を踏まえ、区分経理を導入し収支を経常的なものと臨時的なものに、さらに経常的な収支を教育活動と教育活動外に分けて把握することができるようになりました。また、近年の私学を取り巻く経営環境の変化に対応するため、毎期の収支バランスを見るのに適した基本金組入れ前の収支差額も、表示されるようになりました。
- ・学校法人は営利の追求を目的とする一般企業とは異なり、教育研究活動を目的とする公共性の高い法人です。

(1) 資金収支計算書

- ① 企業会計の「キャッシュフロー計算書」に似た性格を持つ計算書です。
- ② 家庭でいえば家計簿のように現金預金の出入りを集計した計算書です。

(2) 事業活動収支計算書

- ① 企業会計の「損益計算書」に似た性格を持つ計算書であり、採算の取れた経営を行っているか、経営上赤字になっていないかを見る計算書です。
- ② 企業会計の「損益計算書」では計上対象とならない資本的支出が基本金組入額として計上されています。